

2026/01/28 (補訂版)

小論文練習帳 (主に、高校生・大学受験生向け)

出題：捧大地 (ねんネコ塾™)

「カーリング石🏏の問題」を題材にした問題

上級編 (★★★★★)

氷上のチェスともいわれる「カーリング」というスポーツがある。冬季のオリンピックにも正式種目として採用されている。

このカーリングで使われる「ストーン (石)」は、事実上、スコットランドの特定の1つの島「アルサクレイグ島」産の石と決まっている¹。ところが、この石の産地の採用方法が続けると、いつかはカーリング用のストーンが無くなってしまうのだろうか²。

【準備運動】

〔その1〕

このカーリングで使用する石の産地を「特定の1か所のみ」とすることによる「スポーツという性質上のメリット」はどのようなものがあるのか。その理由とともに説明して下さい。

〔その2〕

このカーリングで使用する石の産地を「特定の1か所のみ」とすると、理論上は、いつかはカーリング用のストーンの採石ができなくなる。

これを避けるためにはどうすればよいか。

〔その3〕

仮に、採石を「特定の1か所のみ」ではなく、複数の場所から採石するとする。このようにした場合、「スポーツという性質上のデメリット」は、発

¹ 注意的に書き記すが、実は意外なことに、世界カーリング連盟 (WCF) が定める公式な競技規則 (Rules of Curling) の中には、「石の産地 (アルサクレイグ島産でなければならない等)」に関する規定は一切記述されていない。しかし、国際大会で求められる品質 (硬度、吸水率、滑走性能) をクリアできる石の性質を考慮すると、やはり同島産のストーンがカーリング用としては最適らしい。

² 実は、一時期ネット上に、アルサクレイグ島の裏半分が採石され尽くされた「加工写真」が出回っていた。実際には、厳しい採石管理等がなされていて、カーリング用のストーンが無くなるような事は考えられないらしい。興味がある人は自身で調べて頂きたい。

生するだろうか。

【本題】

以上を踏まえて、カーリングストーンの採石・採用方法は、どのようにするのが「most better³」だろうか。❶問題の所在を、複数、指摘して、❷あなたの見解を述べて下さい。

以 上

<参考知識>

この問題に興味のある人は、「ビリヤード用の球」と「カーリング用の石」を対比させて調べてみてほしい。かつて、象牙はビリヤード用の球として最高級のものであったが、それが故に乱獲されてしまったという歴史があるらしい。

その後、象牙の性質を上回る「人工素材」が開発されていったという事実がある。

それに対して、カーリング用の石を人工的に精製するのには、まだ技術的な問題があり、実用化されていない。

興味がある人は、「寒冷地用のコンクリート」とも絡めて、自身で調べて頂きたい。

【解答方法：パソコンの全ての機能（生成 AI の使用を除く）を使用して解答して下さい。】

【推奨解答時間：120分】

【解答文字数：書きたいだけ書いて下さい。】

【解答ができれば、身近な人に読んでもらって、感想を頂いて mite 下さい。自分だけでは気づかないことがみえてきますよ。】

³ この表現は、英文法的には正しくない可能性がある。正確には、英語の先生に質問して頂きたい。